

# ぶらりわが街宮沢界隈

## (46)宮沢町「阿弥陀寺」から知る仏教・仏像

あなたの家は「何宗」？それってどんなものなの？いつからはじまりどんな教えで、何をすればよいのか、ちょっと知るだけで幸せになるためのヒントも隠されている仏教・仏像の見方も変わってくるかもしれません。宮沢町で多く家の「菩提寺(ぼだいじ)」である「阿弥陀寺」を解説します。ご先祖さまの供養、家族や自分自身の健康や安全をお祈りするために、一人でも、友人や家族と一緒にでも、ぜひ足を運んで下さい。

○ **宗派真言宗**—宗祖空海「弘法大師」—宝亀5年(774)6月15日讃岐善通寺誕生～承和2年(835)3月21日高野山にて**入定**(にゅうじょう)。

15歳で都に入り独自で修行。延暦23年(804)偶然にも最澄(さいちょう)(天台宗宗祖)とともに唐に渡り、長安(西安)の青龍寺の恵果(けいこ)和尚から密教の全てを授与され806年帰国し、のちに高野山金剛峰寺(こんごうぶじ)と教王護国寺(きょうおうごこくじ)(京都・東寺)を密教道場とする。承和2年(835)1月真言宗を立教開宗しました。密教の布教と幅広く社会貢献に尽力した空海は入定後86年を経て、延喜21年(921)後醍醐天皇により現在多くの人々に知られる「弘法大師」の称号が贈られた。

○ **真言宗智山派**—総本山は京都市東山区東山七条にある智積院(ちしゃくいん)空海の本言宗開宗より約300年を経て、中興の祖(ちゅうこうのそ)興教大師覚鑿(こうぎょうだいしかくばん・1095～1144)が高野山に大伝法院(だいでんぽういん)を建立して、真言宗を興隆。教養上の対立から紀州に根来山(ねごろさん)で新義真言宗と呼ばれる宗派の一つとして開創。その後、天正13年(1585)秀吉による紀州征伐で焼討に遭い、学頭・玄侑(げんゆう・1529～1615)が難を京都に避け、東山に慶長6年(1601)智積院を再興。明治33年(1900)9月全国三千の寺院は真言宗智山派として結集し、智積院を総本山と定めた。

○ **阿弥陀寺のご本尊**—「阿弥陀如来」。徳川初期の作。仏像や仏画で表現される如来は、悟りをひらいた後のお釈迦さまの姿をもとにしている。「阿弥陀如来」は現世を照らす光の如来で、西方にある極楽浄土を造ったとされ、祈ると得られるご利益は、念仏を称(とな)えて身をまかすと幸福に満ちた世界に導き極楽往生できる。

○ **多摩八十八ヵ所霊場**—阿弥陀寺は第80番礼所。昭和9年(1934)弘法大師ご入定1100年御遠忌を記念して、多摩地区の真言宗寺院(一番安養寺(武蔵野市)～八十八番金剛寺(日野市))で再編成された、四国八十八ヵ所霊場の写しです。

\* 参考文献・資料—「大人の仏教入門・知っておきたい仏像と仏教」(宝島社)「多摩の神社めぐり」(けやき出版)

(文・写真)防犯宮沢支部 西山 禎一

\* **菩提**とは一さとり、めざめを意味する梵語(ぼんご)。

\* **菩提寺**とは一般的に先祖代々のお墓があって法要(葬式や法事)を営む寺院をいう。

\* **入定**とは一座禅修行し聖者が死去すること。

\* **如来**とは「真理に目覚めた者」を意味する。修行の末に悟りをひらいた仏たちの総称です。

**密教**—空海が伝えた密教の解釈は、宇宙の中心は大日如来(だいにちによらい)で、すべての仏は化身した姿です。この身のままで仏(大日如来)と一体になることのできる「即身成仏(そくしんじょうぶつ)」を説く。そのための修行方法が**三密**です。「手に印を組み」「真言を唱え」「心を仏(本尊)に集中する」修法を同時に行います。具体的な方法は、師から弟子へ伝えられる秘伝です。秘密の教えであるから密教といいます。空海の伝えた密教は「東密(とうみつ)」・最澄の天台宗は「台密(たいみつ)」と呼び、護摩焚(ごまた)きなどの呪術的な修法であり、皇室や貴族の間で人気があり、平安時代の仏教をリードしていた。



阿弥陀寺山門



空海の銅像と本堂



本尊「阿弥陀如来」